

# 南 風

津島市立南小学校 校長室だより 第18号

平成27年 1月 7日 (月2回発行)

南小HP『南風学舎』 ダイジェスト版

※ 合わせて南小学校HPをご覧ください

## 感動した箱根駅伝、見ましたか

今年も正月の風物詩「箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)」を見ました。青山学院の神野大地選手を応援しました。津島市立神守中学校出身。テレビアナウンサーの紹介にも「尾張津島が生んだ」というフレーズがありました。(実は、私は天王中学校出身の村瀬圭太選手:麗澤大学 も応援していました。今回の大会は2人も津島市出身の大学生が出場していました)

箱根駅伝の魅力は、一本の襷(たすき)にかける思い。襷をつなぐことにあります。一人だけでは出せない記録や実力が、襷をつなぐことで発揮できます。まさにチームワークの力。選手と選手を支える控えの選手やスタッフによって大手町から箱根までを襷が往復します。この魅力のため10時間を超えるテレビ視聴を楽しむことができます。どうか皆さんも何かに熱中し、みんなの力で創り出す楽しさを味わって下さい。「一人はみんなのために みんなは一人のために」この素晴らしい言葉を実感してほしいと思います。

### 保護者の皆様へ

## 『遠くを見つつ、足元を掘る』(謹賀新年)

2015年となりました。今年最初の「校長室だより」の記事を書いています。皆さんは、新しい年を健康で落ち着いた思いで迎えていただけたでしょうか。この言葉は、今年の私の目標です。子どもたちや保護者の皆さんとの語り、授業づくり、学校経営、仲間づくり(人間関係づくり)すべてにわたってこの言葉を大切にしたいと思います。

「見通し(遠望)をもちながら、足元を固め、身近な問題から解決していく」そんな意味です。

今年の「遠くを見つつ、足元を掘る」具体的な取組。

- ①南小の子どもたち、保護者の皆さん、地域の方のことを考え、不惜身命。まず話を聴き、問題解決に当たります。
- ②「地域の学校」(おらがまちの学校)づくりを進めます。
- ③南小の子どもたちと先生方の健康を大切にします。働きやすい職場づくりを進めます。
- ④研究会・指導会等を通して、教師魂のこもった「授業づくり」「学級づくり」「教育技術」を伝える現職研修を行います。
- ⑤津島市内で「郷土愛を育てる」学習イベントを継続し、協力・支援の輪を広げます。

## 大雪を楽しみました

12月18日(木)、最近に珍しい大雪となりました。子どもたちが通学する時間に大雪警報が出ていて、保護者の皆様にはご心配をおかけしました。校区点検を行い、子どもたちが安全に出校できることを確認して、通常の登校となりました。登校後、担任の指示のもと、早速「雪だるまづくり」「雪合戦」となりました。久しぶりの大雪で子どもたちは楽しい時間を過ごすことができたようです。



## 算数の研究授業続く

12月18日(木)、大雪の中、5年竹組「算数 順々に並べて」・1年竹組「ものどひとのかず」の研究授業をしていただきました。南山先生も大津先生もベテランの先生らしく、わかりやすく練習問題をしっかり用意した授業を見せていただきました。板書も考えられており、参観した若い先生方のお手本になる授業でした。



## 「津島の達人ジュニア選手権『もっと この町』」

12月25日(木)、昨年度につくっていただいた「津島の達人ジュニア選手権」のテーマ・ソング『もっと この町』のテレビ収録をしました。この曲は1月「津島の達人ジュニア検定」2月「津島の達人ジュニア選手権:この選手権のテーマソング」を広く知ってもらうために、伊福小学校の宇野善久先生・衛藤義隆先生につくっていただきました。津島市教育委員会の主催事業です。今年は伊福小学校の体育館で収録しました。フォーク調のご当地ソングです。是非一度、この曲をお聴き下さい。(近日中にFMななみで放送)